

令和6年度小牧山歴史館等運営委員会議事録

1 会議の名称

令和6年度小牧山歴史館等運営委員会

2 開催日時

令和7年1月27日（月）午後3時30分から午後4時30分まで

3 開催場所

小牧市役所本庁舎4階 404会議室

4 報告及び議題

○報告

（1）令和5年度及び令和6年度の運営状況について

○議題

（1）令和7年度の事業計画（案）について

5 公開又は非公開の別

公開

6 出席者

〔委員〕池田洋子、浅井啓介、西川菊次郎、富嶋明人、八木裕介

〔事務局〕小牧山課長 武市礼子、課長補佐兼史跡係長 長谷川潤治、

史跡係専門員 浅野友昭、史跡係主事 鈴木悠介、

学芸員 石川大輝

こまき市民文化財団 チーフマネージャー 坂本享司、

マネージャー 跡見由美

7 会議の結果

(午後3時30分開会)

【事務局（長谷川）】

それでは定刻になりましたので、ただ今から令和5年度小牧山歴史館等運営委員会を開催いたします。

本日はご多忙のところ、ご出席いただきありがとうございます。

本委員会につきましては、「小牧山歴史館等の設置及び管理に関する条例」第16条に規定してありますとおり、歴史館等の運営を円滑に行うため設置するものであります。

なお、この会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開するものとしており、本日の傍聴者は1名であります。なお、議事録につきましては発言内容、お名前とも、小牧市のホームページにて公開いたしますのでご承知おきください。

それでは次に、会議資料の確認をいたします。

まず、初めに次第であります但事前にお配りしています次第が差し替えをお願いいたします。本日机の上に1枚置かせていただいております。報告の資料といたしまして、資料1-1と資料1-2が合わせて5枚、議題の資料といたしまして資料2が1枚ございます。追加の資料といたしまして資料3-1、3-2を机の上に置かせていただいております。

続きまして、事務局職員の異動もありましたのでご紹介させていただきます。

【事務局（石川）】

小牧山課史跡係の石川と申します。よろしくお願いいたします。

【こまき市民文化財団（跡見）】

一般財団法人こまき市民文化財団の跡見と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第1として、開会に当たりまして、小牧山課長よりごあいさつを申し上げます。

【事務局（武市）】

改めまして、本日はご多忙のところ、小牧山歴史館等運営委員会にご出席いただきありがとうございます。この委員会は史跡小牧山の歴史的価値や魅力の情報を発信する目的で設置をしております、小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館の円滑な運営に向けて協議をするため設置をしております。史跡小牧山においては令和3年度より進めてまいりました、山頂の主郭地区歴史館周辺の石垣復元工事も概ね計画通りに進んでいるところでございます。後ほどご報告させていただきますが、令和5年のNHK大河ドラマ「どうする家康」の効果やそれに合わせまして小牧山歴史館をリニューアルオープンした効果もございまして、令和5年は大きく来訪者を増加させることができました。今後も史跡

小牧山へ来訪者を増やしていけるよう施設の運営について、本日皆様より忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

それでは、次第の2として池田委員長よりごあいさつをお願いいたします。

【池田委員長】

こんにちは、池田です。お城の周辺のところも整備されまして、どんどん新しい魅力ができてきた小牧山ですが、今回の資料にあります、新規の事業計画もたくさんありますので、楽しみにしております。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

ありがとうございました。それでは、議事に入ります。

ここからの進行は、池田委員長にお願いしたいと思います。

【池田委員長】

それでは議事に入ります。次第の3のところですね。報告1（1）「令和5年度及び令和6年度の運営状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【こまき市民文化財団（坂本）】

こまき市民文化財団の坂本が報告させていただきます。まず、小牧山歴史館の運営状況からご報告させていただきます。

（資料1-1の1番をご覧ください。）

事業実施状況の上半期につきましては前回報告させていただいておりますので、今回は割愛させていただきます。

令和5年度下半期の事業報告です。改装後初めて実施した特別展『石垣で見る日本のお城写真展』を、2月1日から3月20日までの48日間開催しました。来場者数は16,725名となっております。この特別展は、小牧市の市民団体「小牧 城址散策の会」の協力のもと実現できました。展示した30箇所の城の石垣の中には、能登半島地震で崩れる前の七尾城の石垣もみることができた貴重な写真展となりました。

展示改装後の特別展ということもありレイアウト等熟慮した結果、規模を小さくまとめた型で実施しましたが、来館者の9割近くの高評価をいただいております。

続いて、令和6年度の事業実施状況についてです。

（次のページをご覧ください）

5月3日（金）に『小牧山城茶会』を実施しました。今回から石垣復元等により、山頂のお茶会エリアが狭くなり苦情が懸念されていましたが、その心配もなく観光客を中心に山頂の野点を楽しんでいただけました。5月3日のお茶会では定員200名分が、終了予定時刻の1時間前に完売となるほどの大盛況でした。

次に、5月12日（日）と7月28日（日）に『戦国体験』を実施しました。これは、岐阜信長おもてなし集団の響縁という団体と小牧市観光協会専属の影忍さん協力の下で実施したものです。内容としては、甲冑試着体験や弓矢体験、火縄銃体験、手裏剣体験

となっています。両日共に天候には恵まれない中でしたが、体験された方々は非常に満足された様子でした。参加者数は5月が230名、7月が110名（合計340名）という実績です。忍者衣装試着体験については、表記のとおりです。

また、今月の30日（木）から3月20日（木）まで、企画展『小牧山から歩いて行ける文化財』を開催予定です。これは、前回の委員さんからのご提案の『小牧山と徳川家の結びつきをテーマにしてみても？』というご意見にも沿った内容となっています。是非、委員の皆さんにもご来場いただけたらと思います。

続いて、入場者数についてご報告いたします。

（資料1-1の3番をご覧ください）

小牧山歴史館の令和5年度の年間有料エリアの入場者数は78,296人、前年度、こちらは4か月間の休館を含んでおりますが、こちらと比較して39,225人増と約2倍となりました。前回も報告させていただきましたが、NHKの大河ドラマ「どうする家康」で小牧が取り上げられた8月前後の月の来場者数が前年と比べ大きく増えており、それが大きく影響しています。

続いて、令和6年度12月までの有料エリアの入場者数については39,995人、前年度同月と比較して23,648人減少となりました。これは、先に述べました前年度の大河ドラマによる増加が要因です。しかし、一概に比較はできないのですが令和4年度の11月までの来場者数と令和6年度の同月来場者数を比較しますと、約2倍の数となっています。これは、小牧山歴史館南側において実施していた第2工区の整備工事が完了し、年度当初より公開したことで来場者数にも影響したのではと推測されます。

中でも、第2工区の切り立てられた岩盤については、見物される方々の注目のポイントとなっています。

以上で、小牧山歴史館令和6年度の事業報告を終わります。

【こまき市民文化財団（跡見）】

続きまして、小牧山城史跡情報館の運営状況についてご報告させていただきます。

（資料1-2をご覧ください。）

まず、令和5年度の事業実施状況についてですが、企画展では令和5年度が「小牧公園」が愛知県最初の公園として誕生してから150周年に当たることから、『愛知県最初の公園「小牧公園」150年の歩み』を4月から12月にかけて実施しました。また、発掘調査の報告として4月から6月にかけて「小牧山主郭地区第3・4工区発掘調査と石垣復元パネル展」、1月から3月にかけて「史跡小牧山主郭地区第4工区発掘調査報告」を実施しました。8月から9月にかけては小牧・長久手の合戦のうち小牧周辺での両陣営対峙の様子を中心としたパネル展示「家康公の天下をとるは小牧にあり 小牧・長久手の合戦」を実施しました。

講座については、「教えて、れきしクン!小牧山城&徳川家康」や「徳川家康と忍び」など家康と小牧山の関わりや忍びから見た家康像など家康にちなんだ講座を実施しました。

また、小牧・長久手の戦いに関する史料や遺物を扱う学芸員4人による、お仕事についてのトークセッションを実施し、普段はなかなか聞くことができない、学芸員の仕事の裏側を知る機会となりました。

ワークショップについては、小牧山城の発掘品に触れ、拓本や発掘品修復の模擬体験を行うものや小牧山城本丸の石垣ジオラマづくり、木の実で足軽人形づくり、樹脂粘土を使って発掘品模型づくりなど、子どもから大人まで楽しく歴史に触れることができる機会を提供いたしました。

その他、小牧山の遺構を巡るスタンプラリーや大人向けの史跡探検等フィールドワークを実施しました。

令和6年度の上半期の事業の実施状況についてですが、企画展としては、主郭地区第2工区の石垣復元の概要などをまとめたパネル展を実施しました。その他、中井均氏による歴史講座や小牧山の史跡を巡るフィールドワーク、小牧山城本丸の石垣ジオラマを作るワークショップなどを実施しました。

続きまして、入場者数についてご報告します。

まず令和5年度ですが、来場者数の合計が100,857人で、前年度より63,808人増加いたしました。これはNHK大河ドラマ「どうする家康」の放送があったことで小牧山への注目度が増したことや、令和5年4月より来場者カウンターを設置し、有料の常設展示室以外の入場者数も把握するようになったことが主な要因と考えられます。

令和6年度については、特に4月の桜の開花時期や夏の暑さが落ち着いた10月の土日が天候に恵まれたため、多くのお客様にお越しいただきました。また、35度を超えるような夏の厳しい暑さの影響もあり8月・9月は大きく減少しました。大河ドラマブームのように一時のブームで終わらないよう継続してお客様にお越しいただけるよう、今後も努めて参ります。

以上で、れきしるこまきの運営状況の報告を終わります。

【事務局（長谷川）】

続きまして、資料3-1をご覧ください。こちら参考資料にはなりますが、すでに公表しております指定管理業務評価表になります。令和5年度小牧山城史跡情報館の評価表になります。1として利用実績がありまして、裏面2として利用者アンケートの結果、3として収支の実績、4として市の評価となっております。こちらが、3-1、3-2、3-2が小牧山歴史館の令和5年度指定管理業務評価表となっております。参考にまた御一読いただきますようお願いいたします。

【池田委員長】

はい、ありがとうございます。それでは説明は終わりましたので、何かご意見ご質問がいましたら、お願いいたします。

【池田委員長】

はい、いいですか。それではこの報告については終わらせていただきます。続きまして次第4の議題（1）、令和7年度事業報告（案）について事務局から説明お願いいたします。

【こまき市民文化財団（跡見）】

令和7年度の事業計画(案)について資料2をご覧ください。

れきしるこまき企画展では小牧市出身の郷土史家津田応助の数多い業績の中から、小

牧山に関するものを中心に紹介する「津田応助と小牧山」企画しております。歴史館の企画展では「小牧山の樹木たち（仮）」と題し、小牧山の豊かな自然について紹介し、歴史だけでなく小牧山の自然についても触れる機会を提供いたします。

また、れきしるこまきでは、歴史にあまり興味のないお客様にも足を運んでいただけるよう「ワンコインコンサート」や子ども向けの「ダンボール甲冑教室」などを計画しております。

小牧山の歴史や自然についてより楽しく学び、ふれることができるよう事業を実施してまいります。

以上で、令和7年度の事業計画(案)についての説明を終わります。

【池田委員長】

はい、説明が終わりましたので、これについて質問だとか意見がありましたらお願いいたします。

【富嶋委員】

令和6年度の企画の中にれきしるこまきジュニア講座ということで、外に出てというか地域の砦に行って地元の話をするというのがあったと思いますが、1回目小牧山、2回目岩崎山として、他にも砦はあるかと思いますがこの企画は7年度も続けないですか、というのが質問です。

【こまき市民文化財団（跡見）】

7年度の企画としては、フィールドワーク的な砦を巡るものは企画していないので、次年度以降は検討させていただきたいと思います。

【西川委員】

一つどこかで取り上げていただきたいのだけども、小牧山そのものとは直接の関わりはないが、尾張徳川家九代藩主のお墓がありますよね、県内にお墓があるのは平和公園と瀬戸と建中寺と小牧ですね、そういう意味で考えると、ここに墓が来たというか保存する場所として小牧が白羽の矢が立ったという点で見ると、凄く尾張徳川家との結びつきが強い地域だと思う。そういう意味で、歴史館というよりれきしるの方でもいいが、いつからここにお墓があるとかお墓の戒名がそうだとか、ほとんど一緒ですけども戒名がこうあって九代藩主の業績、熱田付近の新田開発だとか色々あるんですけども、ほとんど市内の人は知らないですよ、だからどっかで特集をしてもらえたらいいなと思います。

【池田委員長】

ありがとうございます。建中寺と定光寺と平和公園と小牧山ね。

【西川委員】

建中寺が明治時代に分散して名古屋市内に出したんだけど、名古屋市内は戦争で焼け

て南区にある御霊屋があって、門は小牧2つあってもちろん小牧にも御霊屋はあったんだけど、県内に散らばっているが小牧に結構クローズアップされて、江崎善左衛門からの因縁があったとは思うんだけど小牧が尾張徳川家にとってみれば、凄く関わりのある町だったからいろんな物が残っていると思う。そういう意味で焦点を尾張徳川家との結びつきという点に向け特集をしてほしい。

【池田委員長】

尾張徳川家と小牧市との関係ですね、今まで小牧山史館でも小牧市だけの話をしていたが、広げていきたいということですね。

【西川委員】

信長の関係が出てからは、小牧山イコール信長が初めて城を建てたという点では信長との結びつきを見せるのもいいが、もう少し時代を変えると尾張徳川家との結びつき、もっと言えば徳川家康が小牧・長久手の戦いで明らかに勝ったので、縁起の良い小牧山と見ると色んなことを特集できるかと思います。

【池田委員長】

他に何か令和7年度の事業案に関して、小学生との関わりものと、小牧市と尾張徳川家との関係で墓に関するご意見でしたが…

墓しかなかったのですか？

【西川委員】

元々建中寺に沢山あった一部を小牧はもらっているんですけど。

【池田委員長】

また返しましたよね御霊屋は。

【西川委員】

御霊屋は返しました。山門は二つとも残っている。義親さんが御当主であった時に小牧との関連があるから小牧町が頼んで、石碑や義親さんが書いた物が残っているんだけど、それも含めて尾張徳川家との結びつきを見ると面白いのではないかな。

【池田委員長】

そうですね、今結構そういうことしますもんね。

【西川委員】

例えば、渡辺錠太郎さんが亡くなった昭和10年前後に義親さんが御当主であったから、渡辺錠太郎の石像の書を書いているのではないかな。小牧には義親さんが書いたと考えられる石碑の書が所々にあるので、そこら辺に視点を与えてもよいのではないかな。

【池田委員長】

なかなか難しいかもしれない。同じ事ばかりやってもつまらないので少し、広がってもいいんじゃないかな。

【事務局（浅野専門員）】

今年度事業の中で報告させていただきました、「小牧山から歩いていける文化財」という企画展がありますが、先ほどご指摘いただきました「尾張徳川家と小牧」というテーマではございませんが、山から歩いていける身近な文化財ということで源明公のお墓・西林寺の山門が企画展の候補地として挙げられていたので、そういう形としては紹介しております。

【事務局（武市課長）】

委員の方から色々のご意見いただきました、徳川家と小牧山の深いつながりを示す物を一同に集めて紹介するのは企画としてやってみたいので、何か記念の年をピックアップして展示をするのがいいのかなと思いますので、今後企画をしていきたいと思います。

【池田委員長】

市制 70 周年とからめることができればよかったですね。

【事務局（浅野専門員）】

2030 年が 5 年後ですが、尾張徳川家から小牧山を頂いてから 100 年になりますので、その時には「尾張徳川家と小牧」というテーマで市として企画展なりイベントをやりたいと思います。

【富嶋委員】

れきしるも歴史館も企画が面白いので毎年楽しみです、子どもたちも楽しく学べ成長できる施設だと思っていますが、みんながみんな地理的にいける場所ではない。また、みんながみんな知っているわけではない。史跡小牧山整備計画の関係で学校教育での活用というのがテーマにあるので、教育課程に組み入れた形で授業を行い小牧山を知らしめる必要がある。また、中学校の社会科副読本の編集もしているのでコラムとして小牧山の発掘の成果を紹介しているが、子ども達は知らないことがあり「小牧凄い」という反応がある。そのため、知らしめるということをどんどんやっていく必要があるのではないのでしょうか。ぜひ、学校の授業に出前講座をしていただき教科書の歴史と組み合わせ小牧の魅力を紹介してもらえると、「知りたい・行ってみたい」という気持ちが高まると思います。もっと言うと、物理的にいける子ども達もいるので市からバスを出してもらい、みんなで小牧山に行き学習をするという機会があれば良いのではないかと思います。そういった意味で地域にある砦を題材にした講座が面白かったのもっとやってほしいと思いました。

【事務局（坂本チーフマネージャー）】

こまき市民文化財団ではこまなびという部署がありまして、そちらで出前講座をやっていますので、今後検討していきたいと思います。

【池田委員長】

6月2日に信長が亡くなっていますよね、そういう日を活用することはできないでしょうか。小牧山に城ができたのは何月何日という事は分からないが、この日に信長が亡くなったんだよということを知らせてもらえると面白いのではないかと思います。あと、その他のところにワンコインコンサートがありますがこれは一回だけですか。例えば、古楽器の演奏会をシリーズ化したら皆さん小牧山に足が向くのではないかと思います。また、忍者の衣装を着るというイベントは大人・子ども両方が対象ですか。

【事務局（坂本チーフマネージャー）】

忍者衣装に関しては大人・子ども両方が対象です。

【池田委員長】

着てすぐ脱ぐということですか。

【事務局（坂本チーフマネージャー）】

そうですね、記念写真を撮ったら脱ぎます。

【池田委員長】

他に何かご意見はありますか。

【浅井委員】

この会議にずっと出席させてもらっていますが、小牧って凄いなと思ひまして何か潜在的な力を持っているという事がわかります。ですが、皆さん一般的に知らないですよ、信長・家康・創垂館等々の文脈をしっかりと立ててシンボリックな日を1日作ると子どもが喜ぶのではないかと思います。前にも言いましたが今は世界が繋がっている時代なので、逆に自分達を知りたいという流れだと思います。だからこそ、自分達が生まれた土地の事を知りたくなり、うちはこういう所だぞと胸を張りたい。少し前まで小牧は文化不毛の地だと言われておりましたが、私は見つけられてないだけだと思いますので、先生方の力を借りて周知をするいい手があればいいですね。例えば、客寄せパンダではないですが役所の誰かがユーチューブを開設してアピールしても良いのではないのでしょうか。

【池田委員長】

今はビルが結構建ってしまい小牧山が見えるところは少なくなりましたが、この濃尾平野で小牧山は昔どの様に見えたのかというのを、絵がたくさん残っていると思うので紹介できたら面白いのではないのでしょうか。

【浅井委員】

土地の名前や土地の旧名には何かしら意味があると思うのでぜひ紹介してほしいです。

【池田委員長】

（仮称）歴史民俗資料展示施設に行くと見られるかもしれませんね。何年後開館でしたか。

【事務局（武市）】

今年実施設計を行って、来年度以降となります。

【池田委員長】

ラピオの4階に小さいものができるので、もしかしたら見られるかもしれない。

【西川委員】

（仮称）歴史民俗資料展示施設が開館したら、この小牧山歴史館等運営委員会の等の中に入れますか。というのも、現在各施設が色々な立場でイベントをやっていますが、このままだといずれバラバラになってしまうと思います。そのため、文化財課や小牧山課で統一的に管理をする必要性があると思います。

【池田委員長】

ありがとうございます。

【富嶋委員】

来年度から小牧市の小中学校では「夢チャレンジ科」というのが始まります。小学校では35時間総合的な学習の時間を増やして、その中で探究学習を行います。これまでの総合をテーマ学習とすると、プラスの35時間は「My探究」です。子ども達がそれぞれのテーマで小学校4年生から中学校の3年生まで続けていくという学習です。その過程で、歴史や小牧山の地層に興味がある子ども達もいると思いますので、その際はぜひ協力していただきますようお願いいたします。

【西川委員】 ss

例えば、群馬県は県民の多くが上毛かるたを知っている。それは小さいころからずっと植え付けて、当たり前のように身についた郷土の歴史を知っているということでもある。ぜひ、これらを参考に子ども達の成長過程で小牧の歴史を学ぶ機会を作って頂きたい。

【八木委員】

去年の12月に横浜の日本城まつりというイベントに出店しまして、ちょうどそのイベントのテーマが「小牧・長久手の戦い」で、シンポジウムでは小牧山城の話題が何度かでてきました。その度に、小牧山城ブースが大人気となって小牧山課が作成した資料が飛ぶようになりました。観光協会としても何とか市民の方にもこの状況を知ってもらいたいとPRをしています。その中でも令和7年度事業計画（案）にあります、「発掘調査石垣復元に関する企画展」のような企画展はPRが非常にしやすいので、ぜひ

ひもって開催していただけたらと思います。

質問ですがガイドボランティア研修について、現在のガイドボランティアさんの人数と研修内容を教えてください。

【事務局（跡見）】

現在ガイドボランティアは登録者が16名で、来年度は4名ほど退会されるので減少しますが、現在新しいガイドボランティア募集をしており現状2名の応募があります。ボランティア研修は今年度から実施しており、小牧山課に講師を依頼し発掘の関係の説明をしてもらう研修と、小牧山の自然についても来館者に問われることがあるので講師として清水豊先生に小牧山の自然について説明してもらうという研修を行いました。

【池田委員長】

ついでにガイドボランティアに登録されている方の年齢層を教えてください。

【事務局（跡見）】

年齢層はほぼ高齢者です。60歳越えの方々がほとんどですが、今年度は大学生が2人登録しています。現在女子大生1人の応募がありますが女性のガイドボランティアは依然2名と少ないので、ぜひ若い方や女性の方に参加していただければと思います。

【池田委員長】

それでは議題1は終わらせていただきます。その他について事務局側から何か説明はありますか。

【池田委員長】

何か質問はありますか。

[質問無し]

【池田委員長】

ありがとうございました。全ての議題の審議が終わりましたので、進行を事務局側にお返しします。

【事務局〔長谷川〕】

ありがとうございました。これをもちまして令和6年度小牧山歴史館等運営委員会を閉会いたします。